

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 住みやすいまちをどうつくるか 住生活を考える（40分）</p> <p>国は今年3月、住生活基本計画（全国計画）を決定しました。計画期間は、2016年から2025年の10年間です。これ以前には2006年からのものがあります。全都道府県は2016年中に「当該都道府県の区域内における住民の住生活の安定の確保及び向上の促進に関する基本的な計画」を策定し、公表しなければならないとあります。県の策定に当たっては、県下の市町村の意見を聞かなければならないとされています。また、市町村計画は、任意とはいえ、2015年度時点で自治体数547、策定率31.4%となっています。鶴ヶ島市も作成しなければならないとおもいます。当市には、2015年度で空き家率が11.7%、また県営住宅4ヶ所476戸、市営住宅30戸の公営住宅があり、さらに公営的住宅、UR（都市再生機構）住宅が市内には6ヶ所、2281戸あります。住生活基本計画の視点は、「子育て力」、「環境力」、「地域力」とあります。今、鶴ヶ島市は、いかに若年層と生産年齢人口をどう増やすか、また、高齢者がいつまでも安心して住み続けられるまちにするかが、するどく問われています。こうした視野に立った鶴ヶ島市の「住生活計画」でなければなりませんし、できることはすぐにやる姿勢が求められます。</p> <p>（1）「住宅は、人生の大半を過ごす欠くことのできない生活の基盤であり、家族と暮らし、人を育て、憩い、安らぐことのできるかけがいのない空間であるとともに、人々の社会生活や地域のコミュニティ活動を支える拠点でもある。また、住宅は、都市や街並みの重要な構成要素であり、安全、環境、福祉、文化といった地域の生活環境に大きな影響を及ぼすという意味で社会的性格を有するものである」という見解があります。この見解をどう思いますか。</p> <p>（2）市営住宅を増設する必要がありますがいかがですか。また県営住宅を増やす要請をしますか。</p> <p>（3）県営住宅及びUR住宅の5階建て棟にエレベーター設置を要請すべきですがいかがですか。</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>(4) 春日部市において実践していますがUR住宅に大学生に住んでもらい活性化のこころみをしています。当市でもやるべきではありませんか。</p> <p>(5) 住宅リフォーム制度の確立を。</p> <p>(6) 空き家、空き店舗、空き室を財産ととらえ、不動産業界とも連携して起業をめざす市民、支え合い、自治会を含むコミュニティ活動を支える拠点、などとすべきですがいかがですか。</p> <p>2 農業大学校跡地への企業誘致をめぐる諸問題について（20分）</p> <p>2016年4月27日の「日本経済新聞」トップ記事で鶴ヶ島の県有地農業大学校跡地にIHIが航空整備拠点と報じています。格安航空会社（LCC）で需要が広がっている。100億円程度を投じ、2018年度をめざして稼働させるとしています。エンジンを機体から外して持ち込み、保守・点検を手がける整備工場として200人から300人を雇用するとしています。本決まりではないとも報じています。知事も市長も歓迎するとしています。翌日には「埼玉新聞」も報じています。</p> <p>(1) その後の情報について</p> <p>(2) 2018年度稼働といえは極めて短期間です。この問題をどうするつもりか さらに進出企業と自然環境への配慮、市民から親しまれる場として具体的にどうすすめていくか。</p> <p>(3) 排水・下水・上水などのインフラ整備計画と費用計画と財源は。</p>	<p>市長</p>